

総務委員会

【日程】
平成22年5月17日～19日
【視察地及び項目】
高知県 高知県方式汎用機システム
再構築事業
高松市 商店街活性化促進事業
香川県 東山魁夷せとうち美術館

【主な視察内容】
高知県では現有資産を活用して独自の移行方法による再構築を可能とした高知県方式汎用機システム再構築事業を、高松市では低迷する地域商店街の活性化の成功例として評価が高い商



高 松 市

店街活性化促進事業を、また、様々なテーマで所蔵作品の展示と共に、他の美術館との多様な交流を推進する、香川県立東山魁夷せとうち美術館の運営状況を視察した。

健康福祉委員会

【日程】
平成22年5月10日～12日
【視察地及び項目】
函館市 福祉のまちづくり条例
伊達市 障害者支援施策
札幌市 ワーク・ライフ・バランス

【主な視察内容】
函館市では市民が共有すべき福祉の理念やそれぞれが果たすべき責務などを掲げると共に、公共的施設の整備の基準を定めている福祉のまちづくり条例について、伊達市では障害者が地



函 館 市

域で暮らしていくために必要な支援を行っている障害者支援施策を、札幌市では仕事と生活の調和を目指すワーク・ライフ・バランスの取り組みを視察した。

常任委員会の視察

環境文教委員会

【日程】
平成22年5月13日～14日
【視察地及び項目】
姫路市 小中一貫教育制度
神戸市 ピン・缶・ペットボトルの
資源リサイクル事業
こうべ環境未来館

【主な視察内容】
姫路市では小中一貫教育制度の導入について、独自のプログラムを策定し、地域の実情に配慮しながら児童生徒の心身の発達に応じた学習指導の充実を目指す取り組みを、神戸市では資源



姫 路 市

化リサイクル事業やリサイクル施設における知的障害者の雇用の場としての活用状況を、また、隣接するこうべ環境未来館での環境に関する啓発活動について視察した。

建設委員会

【日程】
平成22年5月10日～12日
【視察地及び項目】
福岡市 博多駅再整備事業
大野城市 コミュニティバス
熊本市 魅力ある熊本駅周辺のまちづくり事業

【主な視察内容】
福岡市では魅力ある駅前広場の形成と歩行者ネットワークの充実・強化等を図る博多駅再整備事業を、大野城市では平成15年から運行を開始し、市内を4ルートで運行するコミュニ



大 野 城 市

ティバスについて、熊本市では出会いと触れ合いの副都心を将来像に、九州新幹線建設事業、熊本駅周辺の都市計画道路網の整備等を行う熊本駅周辺のまちづくり事業を視察した。

福 祉

ひきこもり対策

市の支援ネットワークの周知徹底を
パンフレットや広報特集号を検討

谷藤利子議員(日本共産党)
このほど発表されたひきこもり支援に関するガイドラインの主旨を踏まえ、支援ネットワークの必要性等についての認識を問う。
また、本市の支援ネットワークの体制を当事者や家族にアピールし、市民の偏見を無くすためにも、更なる周知徹底は出来ないか。
答 支援を必要とする事例に対しては、保健、福祉、医療などの多面的アプローチが求められ、身近な地域での多機能による連携ネットワークが必須である。周知の徹底として、ホームページの改善や関係機関の協力を得てパンフレットを作成する他、広報特集号の実現に向け協議していく。

無 縁 死

福祉的就労

もつと市の業務を発注できないか
平成20年から増加してきている
石原美佐子議員(民主・市民)
リーマンショック以降の大不況により、障害者の仕事も激減している。市内で就労支援を行うNPOや福祉作業所のスタッフは、仕事を求め日々営業に努力しているが、大変厳しい状況である。単純作業や軽作業をしている人々に、市の業務をもつと発注できないか。
答 障害者施設等には20年以上前から公園の清掃や草刈り業務は発注していたが、平成20年の地方自治法施行令の一部改正等により、発注業務も増加してきている。22年度は障害者施設等で作成した手づくりせっけん等を、本市で開催される国体の参加選手や監督に記念品として配布する予定である。
め、市として全体の実数は把握できていない。
今後の対策としては、民生委員、社会福祉協議会、自治会などの地域社会、行政がそれぞれの役割を果たしながら連携・協力していく。
佐藤義一議員(民主・市民)
現代は無縁社会と言われ、人知れず亡くなる無縁死が増えてきており、悲惨である。終身雇用制度の崩壊、家族関係の希薄化など社会構造の変化が要因と考えられる。本市の現状と対策について問う。
答 警察では無縁死とされる件数を公表していない。

本市での対策どうする
地域社会、行政が連携協力して支援

交 通

羽田空港へのバス運行

運行開始時期等の検討状況は
京成バスから夏頃開始予定と聞く
五関 貞議員(自由クラブ)
現在、市内から羽田空港へのアクセスにはJRや京成線を利用するルートがあるが、多くの市民から不便であるとの声を聞く。市川駅南口の再開発事業に合わせた、JR市川駅南口から羽田空港へのバス運行の要望を以前から議会でも質問してきた。運行ルートや運行開始時期の検討状況を問う。
答 現在、運行事業者である京成バス株式会社が、新路線開設の申請を国に提出している。羽田空港までは、JR市川駅南口から東西線妙典駅や行徳駅を経由して高速湾岸線に向かうルートを予定している。また、運行開始は夏頃を予定していると聞いている。

経 済

商店街活性化

商工業振興条例制定の考えは
年度内の策定を目指したい
稲葉健二議員(緑風会)
商店街の活性化に向け、商工業振興条例の制定と、その時期について、どのように考えているか。
また、街路灯等の共同事業補助金の今後の考え方として、設置経過年数の高い街路灯が増えているという現状に対応できるような配慮は出来ないか。
また、共同事業補助金における街路灯の電灯料、修繕撤去費用にかかわる要綱の見直しに加え、保険料も検討していきたい。

答 地域産業の振興は市政の重要な課題であり、地域経済の活性化に向けた条例の制定は必要であると考えていることから、年度内の策定を目指していきたい。